

令和4年4月
東京工業大学学務部教務課

2022年度 慶應義塾大学 経済学部開講科目 春学期の履修について

慶應義塾大学経済学部との間で締結した単位互換に関する協定に基づいて、学生相互の科目履修が認められています。この制度による履修を希望する場合は、下記の記載事項に従って必要な手続きをとってください。

学士課程の系・学科に所属する学生のみが対象です。学院・類所属学生は受講できません。

記

1. 手続き期間：**令和4年4月14日（木）～4月20日（水）16：00厳守**

2. 手続き方法：以下2点を教務課学務グループ窓口（Taki Plaza 1階）に提出。
メールでの提出も可（kyo.gak@jim.titech.ac.jp）。

※メールで提出する場合は、件名を以下のとおりとすること。

件名：【単位互換】慶應義塾大学科目履修申告

<提出物>

①特別聴講学生願書 ※「担当教員承諾署名」は不要

②慶應義塾大学授業科目の受講及び単位取得後の科目認定願

※「系主任/学科長 承認」欄については、署名・捺印に代わり、
事前に系主任・学科長へメールで連絡を取り、承認を受けてく
ださい。承認を受けたことがわかるメールを転送または印刷の
上、教務課学務グループへ提出してください。

3. 注意事項

【履修の手続きについて】

① 慶應義塾大学の春学期授業開始日は**4月7日（水）**です。

すでに授業の始まっている科目を履修する場合、出席できなかった回に対する対応は、直接授業担当教員へご確認ください。

② シラバス・時間割は慶應義塾大学からの案内（次ページ以降）に従い確認してください。

③ 科目によっては、履修を認められない場合があります。

履修可否は4月26日（火）以降にお知らせする予定ですが、受講を希望する科目については出席を開始してください。

④ 履修が認められた場合、本学の教務 Web システムによる履修申告を行う必要はありません。

【単位の取り扱い（申告の上限等）について】

- ① 合格点を得た場合、他系扱いの専門科目・他学科扱いの理工系広域科目となります。本学の自分の系・学科の推奨科目に読み替えての単位認定を希望する場合は、系主任・学科長へ事前にご相談ください。
- ② **申告する単位は、各年度の申告単位数に含まれます。**
- ③ 履修できる慶應義塾大学の単位は在学中最大で 30 単位までです。また、留学中に取得した単位や他大学で取得した単位は、全て合わせ **60 単位**を超える認定はできません。

【本件担当】

東京工業大学 学務部教務課学務グループ

Tel : 03-5734-7641

E-mail : kyo.gak@jim.titech.ac.jp

2022年度 慶應義塾大学経済学部科目履修について

2022年4月12日作成

①慶應義塾大学 シラバス(学外用)より科目を確認する。

<https://gslbs.keio.jp/pub-syllabus/search>

・「学部・研究科」より「経済学部」を選び、科目一覧を確認する。

・他大学学生履修可能な科目:「分野」が「**専門教育科目(基本科目・特殊科目)**」の科目。

「K-Numberから探す」→「(1)科目設置:FEC-EC」を選択→「(2)科目主番号:④大分類-⑤小分類」より検索

②履修不可科目リストを以下のリンクより確認する。

<https://keio.box.com/s/7sgmzlyix01szregity9q3rdsb7urgu7>

・履修に制限(抽選または打ち切りなど)がある場合、随時更新します。

③履修可能な科目の場合、所属大学の担当者に履修許可願などを提出する。

※注意事項

●シラバスに「セット科目」と表示がある場合は、「a」「b」の両方を必ず履修する必要があります。

●「a」が春学期、「b」が秋学期に設置されているセット科目は、通年科目と同様の扱いとなります。

●「a」「b」の両方が一方の学期に設置されているセット科目は、当該学期に毎週2時限の授業を履修する必要があります。

●時間割上で日本語科目名と英語科目名が並列して書かれているものは、英語開講科目です。

●研究プロジェクト・PCP科目履修を希望する場合は、慶應義塾大学三田学生部経済学部担当までに連絡してください。

(ご参考)

・振鈴表

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/bell-schedule.html>

・塾生スケジュール(学事日程)

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/schedule/academic-calendar.html>

・学生証発行について

メディアセンターおよび対面試験の受験には学生証が必要です。発行までに2-3営業日を要する場合がございますので、必要な場合は、三田学生部経済学部担当までに至急連絡してください。

・定期試験・追加試験(随時更新)

<https://www.students.keio.ac.jp/mt/class/exam/>

【慶應義塾大学経済学部三田設置科目】

履修追加不可科目一覧(春学期)

下記の科目は履修者数多数のため、1次申告期間後に抽選を行いました。**2次申告期間(4月6日 18:00～14日 10:00)に追加登録することはできません。**

なお、2次申告期間後、履修者多数の科目について、履修制限(抽選または打ち切りなど)をする場合があります。

設置学部	科目名(設置学部順)	担当者氏名	曜日時限	授業形態
経/経研	金融論a/金融論	佐藤 祐己	月1/火1	学期前半
経/経研	スタートアップとビジネスイノベーションa/スタートアップとビジネスイノベーション	中妻 照雄	金3	通常
経/経研	専門外国書講読/専門外国書講読/専門外国書講読	加島 潤	火3	通常
経/経研	ベイズ統計学a/ベイズ統計学	星野 崇宏	火2	通常
経/経研	マクロ経済学中級 I a/マクロ経済学	前多 康男	月3	通常
経/経研	ミクロ経済学中級 I a/ミクロ経済学	坂井 豊貴	火3	通常
経/経研	ミクロ経済学中級 II a/ミクロ経済学	石橋 孝次	水3	通常
経	アジア経済史a	小川 道大	金2	通常
経	アジア経済史各論	リム, タイウエイ	水1	通常
経	医療経済学	井深 陽子	金1/金2	学期後半
経	医療経済学	井深 陽子	金1/金2	学期前半
経	NPO経済論a	塩澤 修平	金2	通常
経/法	会計学a/会計学 I	坂井 恵	金1	通常
経	開発援助論	山田 浩之	火2	通常
経	環境経済論a	マクドナルド, アン	月3/月4	学期前半
経	金融資産市場論a	藤田 康範	木3	通常
経	グローバル人材マネジメント	マニエ ワタナベ, レミー	火3	通常
経/法	経営学a/経営学 I	谷口 和弘	月3	通常
経/商	経済学史 I /経済学史 I a	川俣 雅弘	火2	通常
経	経済史	柳生 智子	木2	通常
経	経済政策のミクロ分析a	藤田 康範	月2	通常

設置学部	科目名(設置学部順)	担当者氏名	曜日時限	授業形態
経	経済体制論a	駒形 哲哉	火2	通常
経	経済地理a	河端 瑞貴	水1/水2	学期前半
経	経済地理b	河端 瑞貴	水1/水2	学期後半
経/法	計量経済学Ⅰ/計量経済学中級a	田中 辰雄	火1	通常
経	現代日本経済史a	橋口 勝利	火2	通常
経	現代日本経済論a	田中 幹大	水	通常
経	工業経済論a	三嶋 恒平	水2	通常
経	国際経済と行動経済学a	大垣 昌夫	月1	通常
経/法	国際経済論Ⅰ/国際経済論Ⅱ/世界経済論a /世界経済論b	竹森 俊平	水3	通常(春秋 セット)
経/法	国際経済論Ⅱ/国際貿易論b	笹原 彰	水2	通常
経	社会思想a	高草木 光一	月	通常
経	社会思想b	高草木 光一	月	通常
経	社会思想史a	壽里 竜	金/金	学期前半
経/法/商	データとの対話S/情報処理Ⅱ/情報処理特 論Ⅵ	神林 靖	金3	通常
経	政策評価の理論と実践	白塚 重典	月1	通常
経	東欧経済史a	崔 在東	木1	通常
経	東欧経済史b	崔 在東	木2	通常
経	独占資本主義論a	大西 広	水3	通常
経	ビジネス・エコノミクス	亀井 憲樹	水1	通常
経	ファイナンス入門a	大屋 栄	火2	通常
経	貿易政策a	大久保 敏弘	水1/水2	学期前半
経	簿記a/簿記b	坂井 恵	金2	通常(春秋 セット)

以上

(東京工業大学学生用)
特 別 聴 講 学 生 願 書

申告者

所 属 東京工業大学
 学部・学科 学部 学科
 学 年 年
 フリガナ
 氏 名 _____
 学籍番号 _____
 電話番号 _____
 E-mail _____@_____
 住所 〒 _____

履修を希望する学生は、下表に必要事項を入力の上、慶應義塾大学三田学生部へ提出してください。

科 目 名			
科 目 コ ー ド			
教 員 名			
単 位 数			
開 講 時 期	1Q・2Q・3Q・4Q	1Q・2Q・3Q・4Q	1Q・2Q・3Q・4Q
曜 日			
時 限			

科 目 名			
科 目 コ ー ド			
教 員 名			
単 位 数			
開 講 時 期	1Q・2Q・3Q・4Q	1Q・2Q・3Q・4Q	1Q・2Q・3Q・4Q
曜 日			
時 限			

(注)

- I. この許可書は、慶應義塾大学経済学部と東京工業大学との間における学生交流に関する取り決めにに基づき、相手先大学において許可された科目を履修する際に使用します。
- II. この用紙を提出後に都合により履修科目を取り消す場合には、必ず科目担当教員および相手先大学事務担当へ連絡をしてください。
- III. この用紙を使用して履修申請した科目の所属大学における単位の取扱については、所属する大学の履修要項等を参照してください。不明な点は、所属大学事務担当まで確認してください。

慶應義塾大学授業科目の受講及び単位取得後の科目認定願

所属学科・系 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

(全員)

東京工業大学と慶應義塾大学との間における学部学生交流に関する協定に基づき、下記の科目の受講を申請いたします。

科 目 名	科目番号	教 員 名	単位数	開講学期	時限
				前・後	
				前・後	
				前・後	
				前・後	

※ 慶應義塾大学に申請する科目は、1年間に学習申告できる科目の単位数の上限に含まれますので、ご注意ください。

系主任/学科長 承認	
------------	--

(東京工業大学科目への読み替えを希望する学生のみ)

東京工業大学と慶應義塾大学との間における学部学生交流に関する協定に基づき、上記単位取得後、下記の通り、本学における科目として認定していただきたく、併せて申請いたします。

慶應義塾大学にて受講する授業科目			単位取得後、本学において認定を希望する授業科目	
科 目 名	単位数		科 目 名	単位数
		→		
		→		
		→		
		→		

系主任/学科長 承認	
------------	--